

令和4年10月吉日

各位

「台風15号 土砂災害に関する報告書 ①」

庵原山 一乗寺
住職 丹羽崇元

1. 発生源

令和4年9月23日～24日にかけて「台風15号」が静岡市を通過した。

2. 被害状況

- ・一乗寺に隣接する複数の山から、土砂が境内地に流入した。
※被害の大小合わせて、計5カ所の地崩れを確認。
- ・特にBとC地区では、墓地の埋没・倒壊・損傷等甚大な被害がある。

3. 発災から現在までの経過報告

※別紙写真・裏面参照のこと。

4. 復旧計画について

- ・発災初日（9月24日）より、マキタ造園・清水グリーンサービスほか有志のボランティアの皆様による復旧作業を継続している。
- ・墓石や霊骨の救出に関しては、大手石材店のタナカ石材株式会社を中心に、重機を使った大作業とお骨を取り出すきめ細やかな手作業の両輪で進行している。その際、大切な方が眠っている場所だということを意識し、安全かつ丁寧な作業をすることを全体の共通認識に掲げた。更に、取り違いが起こらぬよう「被災墓地名簿」を作成し、被害状況に合わせて「赤（埋没）黄色（損傷）青（付属品）」といったトリアージを行い、個別対応できるよう施策を講じている。

お問い合わせ先【担当：タナカ石材／（054）282-0044】

5. 墓石・霊骨救出から保全までの流れ

- ①土砂撤去 → ②墓石・霊骨の救出 → ③安全な場所へ 一時保管
④霊骨の洗浄（無償） → ⑤施主家へ連絡 → ⑥納骨まで手元供養

※被災された方には、説明会や書面にて詳細をお伝え申し上げました。

- 今後も皆様の御意見をお聞きしながら計画を進めて参りますので、何かとご不便をおかけすることもあるかと存じますが、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。（住職 合掌）

月	日	発災直後からの主な動き	住職の動静
9	23	「台風 15 号」23 日夜～24 日朝にかけて、静岡市に線状降水帯（線状になった積乱雲の集合体）が発生。	通夜
9	24	（断水 1 日目） ・境内奥 2 ヲ所、南墓地 1 ヲ所の「土砂崩れ」を視認。	法事・葬儀・通夜は通常通り営弁。
9	25	（断水 2 日目）被災墓地の確認と当事者の方へ順次連絡をする。 ・境内の「泥かき作業」開始。前住職、総代三役による緊急会議。 ・断水に伴い「災害用自販機」を発動、地域へ飲料を提供する。	法事 2 件。 本堂にて葬儀。
9	26	（断水 3 日目）公式サイト・SNSにて「ボランティア募集」。「お寺の託児所」を開設。共済保険担当者による現場確認。	枕経
9	27	（断水 4 日目）「給水所」を開設し、水や救援物資の配布を開始。墓地参道の土砂撤去。石材業者と、霊骨等の救出について協議。	ラジオ出演
9	28	（断水 5 日目）高校生達が参加し、境内奥の発災現場まで開通。 ・洞慶院にて「貸風呂」開始。行政・衆議院議員が、現場視察。	通夜
9	29	（断水 6 日目）休止を告知するも、少雨のため少数にて作業継続。 ・重機を持参してくださる方もあり、大木・土砂の撤去が進む。	法事 1 件。葬儀。 他寺院へ弔問。
9	30	（断水解消）緊急役員会を招集し、現場確認及び情報共有をする。「仮設トイレ」設置。他の困窮地区へ物資の配達開始。	庵原北ブロック断水解消。
10	1	・専門家による現場検証 → 「本堂の床下」に泥水堆積を視認。 ・床上浸水のご家庭に、寺院座敷の畳を譲渡する。（約 50 枚）	坐禅会、朝課。 枕経。業者会合
10	2	（重機中心の）専門的な復旧作業に入るため一般ボランティアの受け入れを一旦休止。（※南墓地「復旧計画」の見直しをする。）	法事 2 件
10	3	・南側土砂崩れ現場横の蜜柑畑を伐採。墓石の移動を開始。 ・墓地洗浄を開始。霊骨の救出→洗浄の流れを確立。	通夜
10	4	※4 日以降は、専門業者・若手僧侶にて復旧作業を継続する。	法事 1 件。葬儀 晋山式打ち合せ
10	11	・田中石材店（土木部門）による、本格的な復旧作業が始動。	ラジオ出演
10	12	・「あい法律事務所」にて、弁護士先生と相談。 ※先代住職、総代三役も同席。	
10	17	・市行政による「(山門前) 駐車場の土砂」撤去作業が開始。 ・庵原小学校の 5 年生によるボランティア清掃。	晋山式の会議
10	19 23	・「第 1 回 一乗寺土砂災害に関する説明会」開催（当事者対象）	法事 2 件。 晋山式打ち合せ

※何かご不明な点等ございましたら、一乗寺（054-366-0182）までお問い合わせ下さい。

※上記以外の詳細な情報は、一乗寺の公式 WEB サイト／FB・インスタにて随時発信しております。